

# 産業医が行う 職場におけるメンタルヘルス対策

～取組み事例をとおして～

新潟産業保健総合支援センター  
産業保健相談員（産業医学）

田代茂美

（新潟県労働衛生医学協会）

# ○第1部 「産業医の業務について」

- ・ 事業場からメンタル対策の要望が増えた理由
- ・ 基本的な業務内容について
- ・ メンタルヘルス対策を加えるとしたら

# 職場のメンタルヘルス問題が (嘱託) 産業医にとって悩ましい理由

## 1. 精神疾患による休職事例の増加

- ① 少ない訪問回数でどう対処したらよいか？  
(産業医マニュアルも専属産業医向けで詳しすぎる)
- ② 事業場もメンタル不調者の対応に慣れていない？
- ③ 予防のためには何をしたらよいか？

## 2. 診断名・診断基準の変化

- ① どんな状態か診断書だけではわかりにくい

## 3. ケース本人とのコミュニケーションの困難感

- ① 会社にとっての「困った人」との対応のコツを知りたい

# 本日の内容：

## 1. 産業医業務：精神疾患事例に対して

- ・ 復職支援・措置の概略  
（定型的な事例をご紹介します）
- ・ 事業場のラインケア教育
- ・ 産業看護職・人事総務担当との連携

500人程度の事業場に  
毎月1回訪問することを  
想定してみました

## 2. 代表的な疾患と診断基準の概略

- ・ 疾患別・対応のポイント

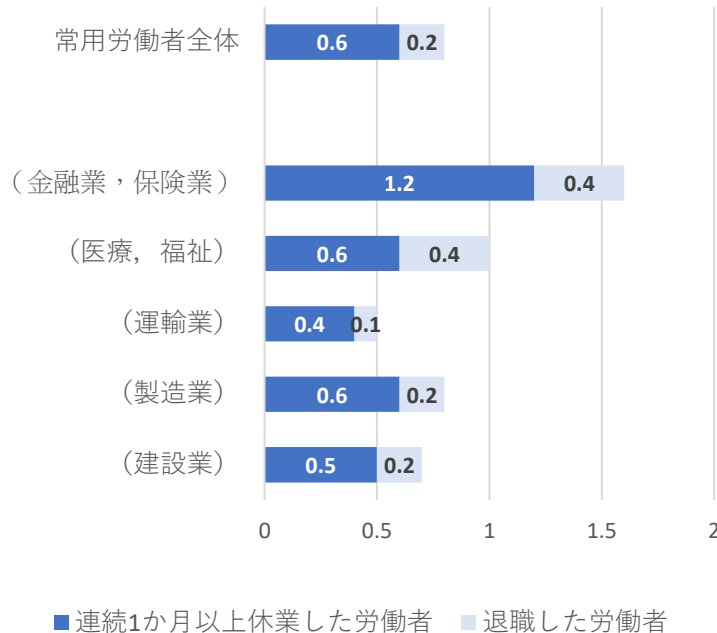
## 3. ケース本人との産業医面談ポイント

- ・ うつ状態を例に

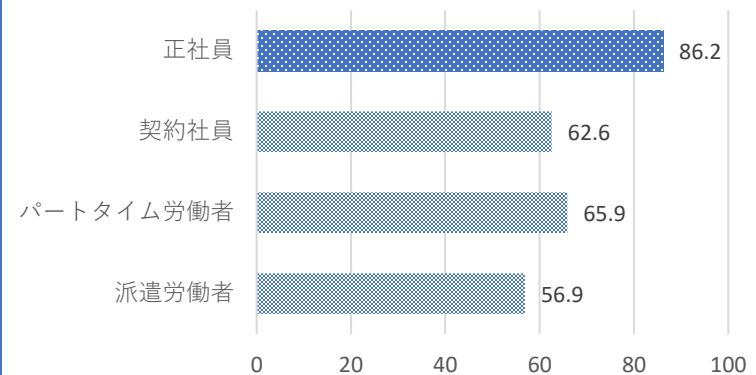
- ・メンタルヘルス不調により休業または退職した労働者の割合
- ・仕事での強いストレスのある労働者の割合

(令和3年とは設問形式が異なります)

過去1年間にメンタルヘルス不調により  
連続1か月以上休業した労働者  
又は退職した労働者割合 (%)



仕事や職業生活に関する  
強い不安、悩み、ストレスを  
感じる事柄がある (%)



長期休業者は167人にひとり  
ストレスを感じている人は全体の82.2%

(令和4年) 厚生労働省 労働安全衛生調査(実態調査)結果概要より作成

# メンタルヘルス不調で事業場が困っている よくあるパターンを整理すると

ケース1) 「うつ病」の診断で**急に休職**する人が  
続出して困っている (アブセンティズム)



ケース2) 毎日出勤しているものの  
**仕事の生産性がとても悪い社員**がいる  
(プレゼンティズム)



ケース3) **離職率が高い**・なぜか優秀な人材から辞める

ケース4) **パワハラを受けた**・会社を訴えるぞ  
と社員から言われてどうしていいかわからない



労働問題の背景にメンタルヘルス不調（こころの病気）が  
関わっていることが少なくありません。

# 産業医の職務

私、治療しないので！

- ①健康管理 ②作業環境管理 ③作業管理  
④労働衛生教育 ⑤総括管理

対象：契約事業場で働く労働者全員  
（健康状態にかかわりなく） → 患者ではない  
目的：健康で安全な就業の継続 → 治療契約外  
根拠法：労働安全衛生法など → 医療法と異なる

\* 産業医に専門分野はない

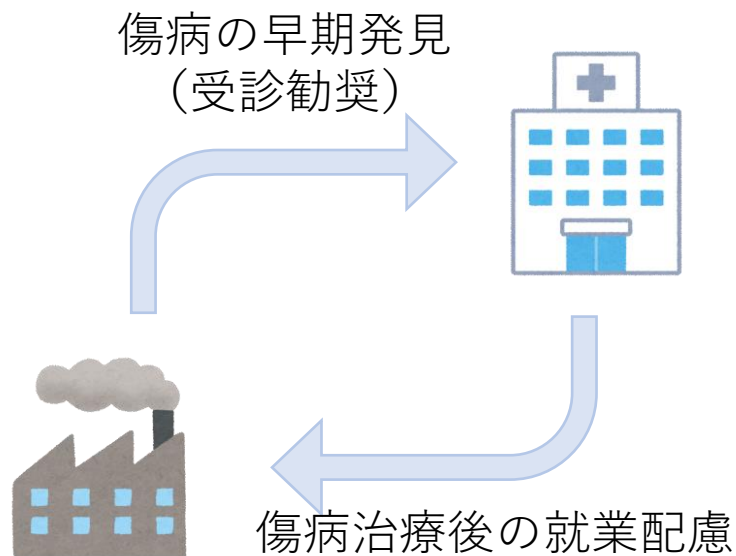
# ①健康管理

「人」の管理



- 健康診断 & ストレスチェック
- 従業員個別の面談  
(受診勧奨、就業配慮)

就業上の措置のために  
症状の理解が必要





# ②作業環境管理      ③作業管理

## 働く環境や有害な作業を調査・改善する

(職場巡視、安全衛生委員会出席)

一般的には

- ・ 化学物質や物理的因子の曝露量測定や評価
- ・ 有害作業の点検、保護具などの管理、  
過重労働による健康被害防止対策

「仕事」の  
管理

### \*メンタルヘルスの観点から

- ・ 職場巡視 (集中して作業できる環境かどうか)  
打ち合わせスペースなど、上司に相談しやすい場所があるか  
VDT作業の椅子やモニターの調整は可能か  
清潔で落ち着ける休憩場所はあるか (男女別に)
- ・ ストレスチェック集団分析結果確認

# 産業現場では 事例性で説明することが重要



## 疾病性

- 医学的な症候や診断名



## 事例性

- 実際に業務の支障となる点

『橈骨遠位端骨折』では  
手首の回旋運動困難



- 重いものを持ってない  
「製品の運搬作業禁止」  
「雑巾搾りができない」

『うつ状態』では  
不眠、集中力低下



突発休の増加  
誤字脱字、計算ミス

毎月1回の訪問活動に  
メンタルヘルス対策を加えるとしたら・・・

## 1. 職場巡視、安全衛生委員会出席

- ・当該事業場の業務内容を理解する良い機会に

## 2. 健康診断結果の確認、就業判定

- ・生活習慣病での受診勧奨

+ ストレスチェック高ストレス者面談

## 3. 希望者との産業医相談ー復職支援

- ・外傷や悪性新生物からの復職面談

+ 心の健康問題での復職面談